

前橋市子ども読書活動推進計画（第三次） 【概要】

前橋市の計画

平成21年3月 前橋市子ども読書活動推進計画（H21年度～25年度）

平成26年11月 前橋市子ども読書活動推進計画（第二次）（H26年度～30年度）

計画の期間

平成31年度～平成35年度（5年間）

計画の対象

概ね18歳以下の子ども

第1章 はじめに

1 計画策定にあたり

第三次計画の策定にあたり実施したアンケート調査において、本市では各年代にわたり本を読む子どもが全国平均よりも多いことがわかりました。

第三次計画では、これまでの取組を継続するとともにこれまで読書に親しむことができなかった子どもたちにも読書活動が広がるよう、多角的な視点から事業を拡大することとし、これまで様々な分野で子どもたちの社会教育活動を支援いただいた前橋市読み聞かせグループ連絡協議会や国・県・NPO等の団体との連携を一層強化し、より効果的な推進を図ることとしました。

第2章 第二次計画の取組状況

1 主な取組と成果

取組の1 子どもが本と出会うために

- ・赤ちゃんに絵本を1冊プレゼントするブックスタート事業を実施し、保健推進員やボランティアの協力により絵本の引換率の向上に努めました。
- ・乳幼児健診等において絵本の読み聞かせなどを実施し、図書館や公民館等においては前橋市読み聞かせグループ連絡協議会等と協力しておはなし会などのイベントを開催し、読み聞かせの大切さ等について普及啓発に努めました。
- ・幼稚園・保育所等において、保育の中での読み聞かせや集会行事などではパネルシアターや人形劇なども取り入れ、絵本やおはなしへの興味や関心を高めました。

取組の2 子どもが主体的に本に親しむために

- ・園だよりやクラスだよりなどを通し、子どもたちに人気のある絵本や年齢ごと季節ごとにおすすめの本を紹介するなど、保護者も子どもの興味関心をもった本にふれる機会を持てるようにしました。
- ・図書館や児童文化センターでは、中高生の職場体験の受入れや、図書館キッズ、サマーフレンズ事業等を実施し、本や図書館に親しめ、本を通して異年齢の子どもとふれあう機会を設けました。
- ・小中学校では、学校図書館において読書クイズや企画展等の読書イベントを開催し、児童生徒の読書への興味関心を高めるとともに、企画コーナーの設置や展示など各校が工夫し、児童生徒一人あたりの年間平均貸出冊数が増加しました。

2 子ども読書の現状

アンケート調査の結果、1か月に1冊も本を読まなかった児童生徒（不読者）の割合は、小学生2.5%、中学生6.3%、高校生26.0%と成長に伴い不読者の割合も高くなっています。

さらに、本を読むと思ったきっかけは、「友だち」、「家族」、「テレビ・映画」が主なきっかけとなっており、友だちや家族の影響を受けていることがうかがえます。

また、保護者に「子どもが読書をするようなきっかけづくりをしているか」と質問したところ、「図書館や本屋へ連れて行く」、「本を読んで聞かせる」との回答が多く、「子どもがもっと本を読むようになるためにはどうしたら良いか」との質問には、「子どもが小さい時から親が本の読み聞かせをする」、「親子で公共図書館や本屋に行く機会を増やす」と回答しています。こうした結果から子どもに読書への興味をもってもらうには、保護者によるきっかけづくりが大切であるといえます。

3 国の動向

第四次計画では、特に高校生の不読率が依然として高いことを課題とし、読書習慣の形成に向けた発達段階ごとの効果的な取組の推進、友人同士で本を薦め合うなどの読書への関心を高める取組の充実、情報環境の変化が子供の読書環境に与える影響に関する実態把握・分析等の取組を進めていくとしています。

4 今後の課題

子どもが本と出会うために、保護者や地域の大人が乳幼児期から読書の楽しさを体験することの大切さ、読み聞かせ等の重要性を理解するとともに、保護者等への啓発活動を推進していく必要があります。

中学生・高校生へと年齢が上がるにつれ読書離れの傾向があるため、本や読書に興味・関心を持ち続けられるよう、発達段階に応じた読書習慣の定着に向け読書活動を推進していく必要があります。

スマートフォン等の急速な普及に伴い子どもの生活環境に変化が見られるなか、インターネットを利用した調べものや電子書籍の利用など子どもの読書環境への影響については、国の動向をみながら本市の課題と捉えていきます。

各教科・領域での学習活動において、学校図書館をより一層活用することにより子どもたちにとって身近な存在となることが期待されます。

子どもの読書活動を効果的に推進していくためには、民間団体をはじめ、学校等の教育機関、公民館等の社会教育施設や国・県等の関係公共団体が各事業への相互支援や情報提供等により連携体制を築く必要があります。

第3章 第三次計画の基本方針

1 理念

読書は、人生をより深く生きる力を身につけていくうえで欠くことのできないもので、子どもの将来を左右する基礎を築くもののひとつでもあります。私たち大人は、子どもが読書の楽しさを知り、自主的な読書活動を行うことができるよう積極的に環境を整えていく必要があります。第三次計画では、これまで読書に親しむことができなかった子どもたちに読書活動が広がるよう「つなげよう 読書のわ みんなにとどけ 本のちから」をテーマとして、子どもの読書活動の更なる推進に取り組みます。

2 目的

本市では、平成21年3月に第一次計画、平成26年11月には第二次計画を策定し、子どもの読書活動推進に取り組んできました。この度、第二次計画の取組・成果と課題及び国の動きを反映させた第三次計画を策定し、本を読む子どもをさらに広げるため子どもの読書活動の推進を図ります。

3 目標

子どもたちに読書の楽しさや大切さを知ってもらえるよう、また、自ら本に手を伸ばす子どもが育つよう、家庭・地域・学校・図書館・関係機関などが連携して事業を行うことで、「読書が好き」な子どもを育成し、1か月に1冊も本を読まない子どもの割合を減らします。

4 方針

(1) 家庭・地域における子ども読書活動の推進

子どもたちが日々の暮らしの中で本と出会える環境づくりや、読書の喜びや楽しみが実感できる読み聞かせなど、親子で取り組む読書活動を推進し、読書をする子どもの裾野を広げます。また、本と子どもたちをつなげていく「人」とのかかわりを大切に育み、地域の活動と一体となった読書活動を推進します。さらに、より多くの市民に子どもの読書活動の意義と必要性についての理解を求めため、周知啓発に努めます。

(2) 学校等における子ども読書活動の推進

幼稚園・保育所等において、子どもたちとその保護者を対象とし、読み聞かせの大切さを伝えて行く取組を広めていきます。子どもたちの主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすため、学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図ります。また、読書の習慣を身に付けられるよう、子どもの成長に応じた読書の方法や本を読むことの楽しさを学校図書館から発信します。

(3) 図書館における子ども読書活動の推進

子ども読書活動の拠点として、発達の状況に応じた蔵書の充実を図るとともに、本との出会いや読書の楽しみを知る機会を提供します。さらに、学校や幼稚園・保育所、ボランティア団体などが利用しやすい環境を整え、団体等による読書活動を支援します。

(4) 関係機関との連携による子ども読書活動の推進

学校、幼稚園・保育所等の教育機関、公民館等の社会教育施設や、関係公共団体や民間団体等と図書館が相互に連携を図り、子どもの読書活動を効果的に推進します。

第4章 子ども読書活動推進のための方策

1 家庭・地域における子ども読書活動の推進

- ・マタニティセミナー・パパママ教室や親子を対象とした健診等で絵本の紹介や読み聞かせ
- ・ブックスタート事業の推進
- ・子育て中の親や子育て支援者を対象とした読み聞かせ講座の開催
- ・文化祭等のイベントでの読書活動啓発
- ・ボランティア団体との連携と活動支援
- ・学生ボランティア・職場体験の受入れ

3 図書館における子ども読書活動の推進

- ・おはなし会や各種イベントの開催
- ・図書館キッズ・サマーフレンズ等の学生ボランティアや職場体験の受入れ
- ・小学校1年生へ図書館利用カード・読書通帳の配付等による図書館の利用促進
- ・子どもが主役となる事業の実施
- ・分館において子どもを優先した時間を設ける子どもたちに寄り添う事業の推進
- ・学校図書館への支援

2 学校等における子ども読書活動の推進

【幼稚園・保育所等】

- ・あらゆる機会に読み聞かせを実施
- ・幼稚園教諭・保育士対象の研修会開催
- ・保護者への啓発及びボランティア団体との連携、こども図書館の活用

【学校】

- ・ブックトークやビブリオバトルなど授業における読書活動の推進
- ・図書委員会活動の充実など、児童生徒が主体的に本と親しむ読書活動の推進
- ・学校図書館の活用の推進
- ・貸出リストの共有等による蔵書の充実、教職員研修による学校司書等のスキルアップ及び学校間の連携強化
- ・学校便り等による情報提供及び保護者を対象とした読み聞かせ講座等の開催による読書活動の啓発
- ・他校との交流による読書活動の推進

第5章 関係機関との連携による子ども読書活動の推進

- ・幼稚園・保育所等への絵本セットの団体貸出や、小中学校等への団体貸出による調べ学習等への支援
- ・ボランティア団体等との連携によるイベント等の充実及びボランティア育成の支援
- ・民間団体、国・県等の公共団体及びNPO等との連携による読書活動の普及・啓発活動の推進
- ・前橋市読み聞かせグループ連絡協議会等のボランティア団体、NPO教育支援協会北関東等の教育活動団体、国立赤城青少年交流の家等の社会教育施設等が複合的な協力体制を築き、幼児期から継続した読書活動及び保護者や地域の大人への啓発を含めた読書活動の推進